

毎日新聞 平成28年3月28日

## 学校ぐるみ受検 中学校など表彰

### ジュニア防災検定

子供たちに総合的な防災意識を高めてもらうことを目的とした「ジュニア防災検定」（防災検定協会主催）の今年度の表彰式が27日、文京区小日向の後藤新平・新渡戸稲造記念講堂で開かれた。

東日本大震災の教訓を生かすために4年前に創設された。過去3回で計約1万人以上の小中学生が受検した。知識や記憶力中心の検定と違って、事前、事後の課題もあり、地域や学校、家庭などで取り組む具体的な防災活動レポートなども必要となる。

式では3年連続、学校ぐるみで受検に取り組んできた日大豊山中（文京区）、清風中（大阪）や、事前と事後の課題で優秀な評価を受けた個人が表彰された。事後課題優秀賞に輝いた荒川区立原中2年の宮田羽菜子さんは校内の防災ボランティアとしての活動をまとめ、「助けられる人から助ける人になる」と語った。

受検は団体を基本とし、防災教育に取り入れる学校も増えている。新年度からは高校生以上を対象とした一般も開始する。問い合わせは同検定協会（<http://www.jbk.jp.net>）